

鮫浦湾ホヤ幼生調査報告（第8報）

実施主体 宮城県漁業協同組合谷川支所養殖組合
 協力機関 東北大学マリンサイエンス復興支援室
 宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
 宮城県水産技術総合センター

◆ホヤ幼生の出現状況調査内容

日 時：1月5日 10:30～13:30（検鏡11:30～13:30）

天 候：晴れ

調査員：谷川支所養殖組合（阿部弘幸，米倉和久，伊藤敏行，阿部智司）

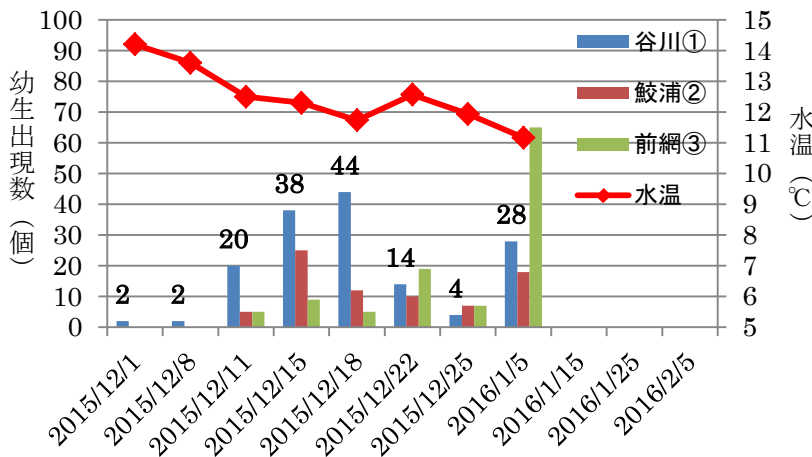
【概況】

1. 鮫浦湾の表面水温は11.1～11.2℃と前回より低下しました。
2. マボヤ幼生の出現状況は、幼生・胚合わせて18～65個と前回より増加しました。
3. 例年であれば、これから大量産卵が見られます。

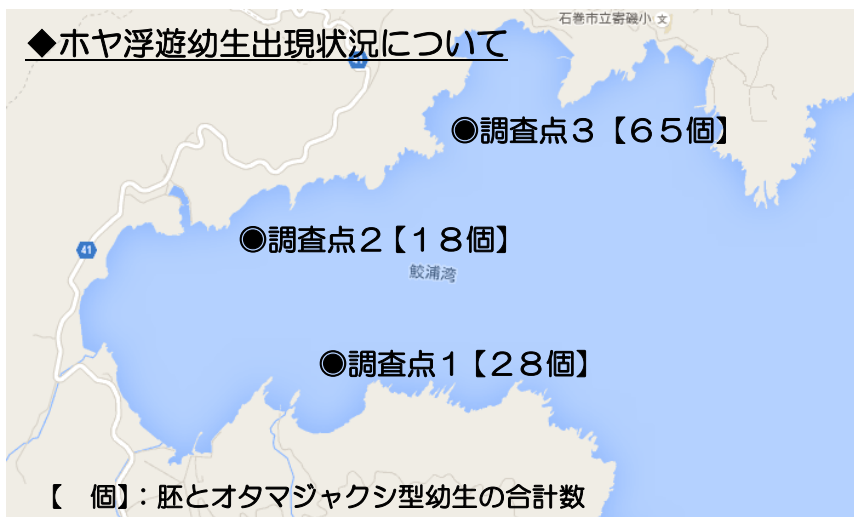
調査点	表面水温 (°C)	ネット曳網距離 (m)	胚(孵化前)・浮遊幼生数(個)			(備考欄)
			胚(孵化前)	浮遊幼生	合計	
1 谷川	11.1	20	0	28	28	その他ホヤ幼生6
2 鮫浦	11.2	15	2	16	18	その他ホヤ幼生1
3 前網	11.2	15	44	21	65	その他ホヤ幼生6

※プランクトンネットは鉛直曳き2回

◆ホヤ浮遊幼生出現数推移



◆ホヤ浮遊幼生出現状況について



① 調査風景



② 調査風景



③ 検鏡風景

